

# 就実通信

Campus Newspaper Shujitsu Tsushin

## Contents

留学体験座談会  
社会で活躍する卒業生インタビュー  
学生表彰  
わたしたちの研究  
研究室レポート  
Campus News  
公開講座



## 留学体験 座談会



vol.34

2018年9月発行

# 留学体験座談会



## 自分の殻を破って広い世界へ飛び出そう！ 学生の今しかできない留学体験を！

**ダンテ**：本学では毎年約100名の学生が海外留学を経験していますが、できればたとえ一週間でもいいので、学生全員に留学体験をして欲しいと思っています。そこで今回は、長期留学を経験した皆さんに体験談を話してもらい、多くの学生に留学に対する興味を持ってもらいたいと思います。ではまず、留学のきっかけと行き先を教えてください。

**山本**：私は、高校の頃から留学に憧れていて、大学で海外研修制度があるのを知り、カナダに留学しました。

**中原**：私の場合は、航空業界への就職を目指しているのも、同じく海外研修制度を利用して、英語力アップのためにオーストラリアに半年間留学しました。

**松井**：僕の在籍する経営学部では、2年次にインターンシップと海外研修のどちらかを選択するんです。その時は企業で長期間働くということがピンとこなくて、消去法でタイ留学を選びました。その翌年、文科省と民間企業が共同で取り組んでいる「トビタテ！留学JAPAN」という、海外留学支援制度を利用してイギリスに行ってきました。

**ダンテ**：そうですね。ちなみに私が日本に来たきっかけは、カンフーでした。やがて格闘技全般に興味が広がり、空手好きになりました。そこから

日本文化についても興味湧いて、ALTとして日本にやってきました。私の留学は、かなり長くなりました。留学というと語学というイメージが強いで

すが、その国の文化や歴史なども調べてから行くと、短期間であってもより多くのものを得ることができます。また、不要なトラブルも避けられるはずですよ。

**中原**：よく分かります。ホームステイ先から学校に行くのはバス移動だったんですけど、日本のように「〇〇前～。どこどこに御用の方はここでお願いします」なんてアナウンスは一切ありません。とにかくひたすら周りの景色を覚えて自分で判断しないといけないんです。ウトウト寝ていたりしたら完全にアウトです。でもそんなことは全く調べていなくて、どこで降りていいのかわからなくなってしまったんです。とりあえず、終点まで行って折り返そうと思ったんですけど、終点のアナウンスすらなくて、ドライバーがバスを降りたから終点かなって感じでした。無事に家に帰ることはできたのですが、日本の常識が世界の常識ではないということをも身をもって学びました。英会話の準備だけではなく、交通事情とかもきちんと調べておけば迷子にならずにすんだかもしれません。でも、ほんとにずっと楽しくて留学して良かったです。

**山本**：私も似たような経験をしました。自然豊かな島だったんで、ホストファミリーにキャンプに行きたいってお願いしたんです。「お風呂に入れないうけいい？」と聞かれて、ちょっと引かかったものの詳しく聞けなかったんです。そしたら2泊3日に及ぶ“本気のキャンプ”に連れて行ってきて、私の感覚ではキャンプというよりもはやサバイバルでした。私の中の“キャンプ”は、バンガローとかに泊まるお気軽なものだったんです。連れていってもらうのに、あれこれ聞くのは失礼だと遠慮せず、疑問を持った時にちゃんと確認すべきでした。でも、日本では経験できない貴重な体験ができて良かったです。



**ダンテ**：2人とも文化の違いを肌で感じるいい体験をしてきたんですね。日本では、自分からあまり要求しないのが美德ですが、欧米では意思をはっきりと伝えることは失礼でもなんでもなくごく普通のことです。タイとイギリスで2度の留学を経験していますが、松井君はどうですか。

**松井**：タイは、どちらかというタイ人同士で固まっている感じがありましたが、イギリスではオープンというか、いろんな人種が集まっている分、外国人を受け入れる寛容さがあったと思います。イギリスでは、「ファンデーションプログラム」と呼ばれる、大学で講義を受けられるレベルまでスキルアップを図るためのクラスがあって、そこで経営の勉強をしていたのですが、とにかくディベートが中心で、発言しないとただ座っているだけで時間が過ぎてしまうので大変でした。それと、イギリス人はびっくりするほど不潔でした。食事の後のお皿を洗わずに放置しているんです。ハエがたかたりカスがこびりついたりしてるのに、そのお皿をサッと水で流しただけで普通に使っていました。ある意味最大級のカルチャーショックでした。

**ダンテ**：それは君のルームメイトが不潔だっただけで、イギリス人に失礼です。次は、留学前と後で変化したことを教えてください。

**山本**：私は積極的になったと言われます。留学前はどちらかというと人前に入るのが苦手でしたが、今はこのような場でも、以前ほど緊張せずに話ができるようになりました。



**松井**：僕の場合は、あまり変化はないと言われますが、自信は増したと思います。

**中原**：私は以前にも増して積極的になりました。バイト先のカフェでも、お客様に聞かれる前にメニューの説明をしてしまうほどです。見知らぬ人でも、困ってそうだなと思うと、自然に自分から声を掛けることが増えました。

**ダンテ**：ほんとに貴重な経験ができましたね。物の見方や考え方など、皆さん自身が思っている以上に成長していると思います。グローバル化が進んだ今、英語は話せて当たり前の時代になりました。ヨーロッパではトリリンガルに向けての言語教育政策も進んでいるほどです。これからの社会を生きる皆さんには、ぜひ留学経験を通して、自分の目で肌で感覚で、いろんな国の人の考え方や文化、価値感を学び成長して欲しいです。教科書からは決して学べないことがたくさんありますよ。さあ、今こそ日本を飛び出して広い世界に羽ばたきましょう。



## 留学の思い出 Memories

### 座談会メンバー



**教員**  
ローレンス・ダンテ  
人文科学部実践英語学科教授  
国際交流センター長



松井 佑太  
経営学部経営学科 4 年次生  
カセサート大学  
タイ 2016.8.9～2016.12.30  
ケント大学  
イギリス 2017.9.27～2018.6.18

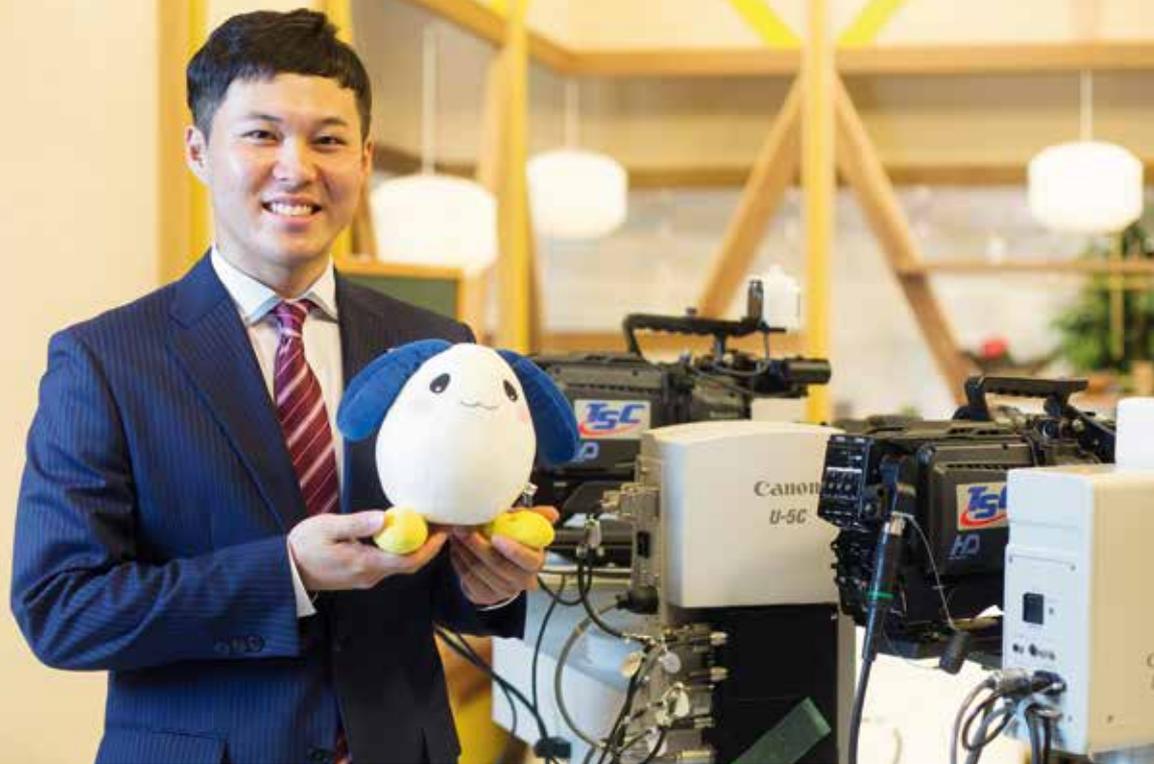


中原 千夏  
人文科学部実践英語学科  
3 年次生  
クイーンズランド大学  
オーストラリア 2017.8.25～2018.2.14



山本 舞  
人文科学部実践英語学科  
4 年次生  
ビクトリア大学  
カナダ 2017.4.8～2017.8.26

社会で活躍する  
卒業生  
インタビュー



テレビせとうち株式会社

加納 大さん

経営学部 経営学科  
2018年3月卒業

ある一日の勤務スケジュール

- 9:15 出社
- 9:30 業務開始、事務処理（伝票、稟議書の処理、スポンサー・代理店などへの電話）
- 10:00 企業訪問
- 12:00 昼食、休憩、移動
- 13:00 企業訪問
- 18:00 帰社、事務処理（伝票、稟議書の処理、スポンサー・代理店などへの電話）
- 19:00 退社



就活メモ

就活を始めた時期

3年の11月ごろから、キャリアセンターで志望する企業の過去の筆記問題や面談内容をチェックして入社試験に備えました。また、先生方にも積極的に相談しました。

就活に役立ったこと

キャリアセンターでの最新情報のチェックです。定期的に何度も足を運び、目指す業界や企業の説明会の日時や試験日を頭に入れておくことで、しっかりスケジュールを管理しました。また、志望する業界分析を行ったうえで、あえて他業種の情報にも目を向け視野を広げておいたことが、面接対策の一つとなったと思います。

案件ごとに異なるニーズを見極め、“テレビ広告を頼むなら私に”  
と思って頂けるような存在を目指します！

「テレビせとうち株式会社 営業局営業部」に勤務しています。CM枠の販売や、番組・各種イベントへの提供・協賛募集のための営業業務を担当しています。また、営業部として番組収録やロケの立ち会い、各種イベントの企画やイベント会場での来場者の誘導や会場設営などの運営スタッフとしての業務なども行います。

入社から日も浅く、まだまだ分からないことだらけですが、営業先でお会いする方々にとっては、“私=テレビせとうち”であり、私の印象はそのまま会社の印象になる、新人だからという言い訳は通用しない、ということに常に意識して仕事に励んでいます。いつの日か「CMを作って流したいな」とスポンサーの方から要望があったときには、すぐに私に連絡を頂けるような、確固たる信頼を得たお客様が一番の営業マンになりたいです。

私がテレビ業界に興味を持つようになったきっかけは、学生時代に友人達とよく出掛けていた旅行にあります。各地をいろいろと旅をして帰ってくると、岡山は少し寂しいなと感じるようになりました。岡山には立派な城や神社があり、倉敷には知名度の高い美観地区もあります。それに加えてマスカットや桃をはじめ、ジーンズや備前焼、地酒などといった数多くの特産物があります。こういったものを軸にもっと県の魅力をアピールしていくにはどうすれば良いのか…と考えた先にテレビ業界がありました。私はインターンシップでも放送局を選択し、報道や事業などの仕事を体験するうちに、この業界で働きたいという思いが膨らんでいきました。

在学生の皆さんは自分はこれが苦手とか、これは出来ないなどと決めつけるのではなく、色々なことに積極的にチャレンジし、様々な角度から物事を捉え自分の視野をどんどん広げて行って下さい。そうすれば必ずと可能性も広がります。一日一日小さな目標を立て、それをクリアすることで自信を付けて就職活動に挑んでもらいたいです。



社会で活躍する

卒業生

インタビュー



ファーマシ薬局  
やかげ

山足 拡美 さん

薬学部 薬学科  
2018年3月卒業  
(※大学院医療薬学研究科1年生)



#### ある一日の勤務スケジュール

8:40 出勤  
8:55 ミーティング  
9:00 業務開始  
12:30 昼食・休憩  
13:30 午後の業務開始  
18:00 退社  
※大学院授業日(毎週木曜)  
8:00 出勤



#### 就活メモ

##### 就活を始めた時期

5年の12月頃に開始。就職サイト活用のほか、合同説明会や職場見学会にも積極的に参加しました。

##### 就活に役立ったこと

合同説明会やホームページを見て、気になった企業の職場見学会には積極的に参加しました。自分の目で見て比較でき、大学院進学に理解のある企業を探すのにも役立ちました。加えて先生や先輩、友人との会話も有益でした。人と話すことで自分を客観視できますし、お互いの実習先や参加した見学会の情報交換もできるからです。

## 「早期体験学習」が進路決定の決め手。 大学院で学び、地域医療に貢献できる薬剤師を目指します。

私は薬剤師として、「ファーマシ薬局やかげ」に勤務しています。こちらは5年次の実務実習先でもあり、地域に根ざした在宅医療の取り組みに惹かれて入社しました。現在は主に薬局窓口で、いわゆる調剤業務を行いながら、お薬・健康に関するアドバイスやご相談対応などを行っています。薬学部に進んだきっかけは高校の恩師の勧めでしたが進路が定まったのは1年次で参加した「早期体験学習」でした。現場体験を通して、薬剤師という進路希望が自分の中でどのくらい明確になっているのかを早い段階で把握することができました。

日々の業務で心がけているのは、患者さんへの声掛けです。少しでも投薬の不安を取り除けるよう積極的に話しかけています。私は元々、会話が得意ではなかったのですが、学生時代に力を入れた「SGD(スモールグループディスカッション)」や学会発表などで身につけたコミュニケーション技術が、仕事にも生きてると実感しています。

現在は大学院生でもあるので、週に一度就実大学へ通学しています。今後の研究を進めていくため、先生とディスカッションを行っている状況です。将来は大学院で学んだことを業務にフィードバックし、地域医療に貢献できる薬剤師に成長したいと思っています。

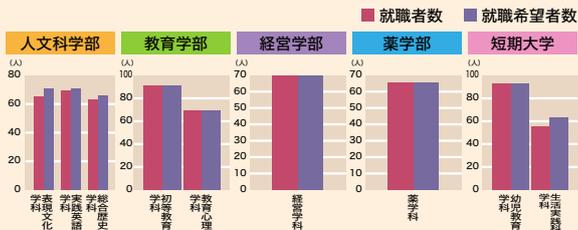
就実大学は、皆さんをしっかりサポートしてくれます。まずは思いきって研究室のドアを叩いてください。もし目標が見つかっていなくても先生や先輩、友人と話をしてみてください。薬学部では担任制度をはじめとしたサポート体制が充実していますし、前に進もうとすれば道は開けるはずです。安心して学んで、たくさんの思い出を作ってください。



# キャリアセンター だより

どのような職業に就くのかは、生涯を左右する大事な選択です。その大事な就職を支援するのが、キャリアセンターの役割です。本学は、キャリアセンターを中心に教職員一体となったきめ細かな支援に取り組んでいます。入学時から就職意識を高めてもらうための初年次教育を行っています。キャリアガイダンスのほかに、「キャリアデザイン論」「スタートアップ就実」の講義を開設しています。就職関連講座では、自己分析講座、就職マナー講座、履歴書・エントリーシート講座、論文作文講座、基礎学力アップ講座、未内定者対象のフォローアップガイダンスなどを実施しています。3年次以上では面接票を用いてのゼミ担当教員による就職相談などを実施しています。また随時キャリアセンターのスタッフが個人面談に応じており、進路相談、履歴書やエントリーシートの添削指導、模擬面接などを行っています。進路については、何よりも学生自身が早い段階から就職意識を高め、研究、努力することが大切です。そして、多くの学生がキャリアセンターを活用されることを願っています。

## 学科別就職者数・就職希望者数



## 就職先一覧

- 人文科学部**
  - 【建設業】 下津井電鉄 (一条工務店)、セキスイハイム中四国、積水ハウス、大和ハウス工業【製造業】 イタミアート、インバム、カイタック、大日本除虫菊、白十字、八天堂、ヒルタ工業、POPカンパニー、源吉兆庵、宮下酒造【電気・ガス・熱供給・水道業】 つばめガス【情報通信業】 岡山情報処理センター、トスコ【運輸業】 岡山交通、高松商運、日本貨物鉄道、日本通運、日生運輸、福通運、両備ホールディングス【卸売・小売業】 石井事務機センター、カリモク家具、アイジエリウマキ、エプソン、岡山トヨタ自動車、岡山マツダ、菅田、啓文社、コーセー、コスモス薬品、コムバス、ザグザグ、山陽マルナカ、山陽ヤナセ、シティライト、大黒天物産、天満屋、トミヤコーポレーション、トヨタカローラ山口、中原三法堂、ニシナ百貨店、ハローズ、プレヒまわり、ユナイテッドアローズ【金融・保険】 中国銀行、トマト銀行、香川銀行、おかやま信用金庫、玉島信用金庫、津山信用金庫、笠岡信用組合、岡三証券、丸三証券、明治安田生命【不動産業】 アールエステートサービス、アバマンショップホールディングス【飲食・宿泊業】 ANAクラウンプラザホテル、ケイコーポレーション、ジェイアール西日本フードサービスネット、トラベルシリウス、日本マクドナルド、ホテルグランヴィア岡山、三井不動産ホテルマネジメント【教育・学習支援業】 公立中学校、アイオ、ITTO個別指導学院、田中学習会【医療・福祉】 大塚矯正歯科クリニック、厚風会健康管理センター、ひまわりの会【複合サービス事業】 JA岡山、JA倉敷かさや、JA周南【サービス業】 飛鳥グループ協同組合、キャリアプランニング、グロップ、KG情報、テイクアンドグウィーニース【公務】 岡山県警察、福山市消防局、海上自衛隊、陸上自衛隊
- 教育学部**
  - 【建設業】 トータルホーム【製造業】 敷島製パン、源吉兆庵【情報通信業】 オプティマ【卸売・小売業】 石井事務機センター、ザグザグ、ストライフインターナショナル、天満屋、トミヤコーポレーション、ネットトヨタ山陽、ハンプティータンブティエ【金融業・保険業】 中国銀行、玉島信用金庫、第一生命、明治安田生命【不動産業】 穴吹ハウジングサービス、さくらコーポレーション【飲食・宿泊業】 トリドール、ホテルアルファアワン倉敷【教育・学習支援業】 公立小学校(養護教諭含む) (岡山、山口、島根、香川、愛媛、高知、大分)、特別支援学校 (岡山、広島)、私立幼稚園、岡山市立少年自然の家、アイオ、ワンズウェイ【医療・福祉】 公立保育園、私立保育園、岡山西大寺院、倉敷平成病院【複合サービス事業】 日本郵政グループ【サービス業】 いのうえ、キャリアプランニング、東武トップツアーズ、マイナビ
- 経営学部**
  - 【建設業】 icreation(イマグリフォーム)、佐藤建設【製造業】 明石スクールユニフォームカンパニー、岡山村田製作所、カモ井加工紙、菅公学生服、興和創業、ナカシマプロペラ、モンテール【情報通信業】 テレビせとうち、両備システムソリューションズ【運輸業】 アートコーポレーション、中谷興運、西日本旅客鉄道、福通運、両備バスカンパニー【卸売・小売業】 グリーンホスピタルサプライ、大豊産業、ティエスアルフレッサ、トリツ機工、中島商会、イオンリテール、キャリアオン、ザグザグ、大黒天物産、ハヤシ、はるやまホールディングス、広島トヨタ自動車、ロソノ【金融・保険業】 中国銀行、トマト銀行、吉備信用金庫、高松信用金庫、備前信用金庫、笠岡信用組合、日本生命【不動産業】 さくらコーポレーション、ミヤマ産業【飲食・宿泊業】 アバホテル、ジェイアール西日本テイラーサービスネット、トラベルシリウス【教育・学習支援業】 倉敷地所、ジェリーフィッシュ【医療・福祉】 国立病院機構中国四国グループ、プライムホスピタル玉島【複合サービス事業】 JA岡山、JA岡山西【サービス業】 アイアンドエフ、いのうえ、山陽美業【公務】 国税庁
- 薬学部**
  - 【薬局・ドラッグストア】 アイビー薬局、アイングループ、アカカベ薬局、あかりファーマシー、いちのみや薬局、ウエルシア薬局、オレンジ薬局、金光薬品、クオール、ケイ・クリエイト (こやま薬局)、サエラ薬局、ザグザグ、サンキュードラッグ、サンライズ薬局、四国メディカル・サポート、津山調剤薬局、虹の薬局、のぞみ薬局、阪神調剤ホールディングス、ファーマシィ、プレヒまわり、ぼらしや薬局、マスカット薬局、メジカメント (サカエ薬局)、メディカルシステムネットワーク【病院】 明石市立市民病院、旭川荘療育・医療センター、江戸川病院、岡村一室病院、岡山協立病院、岡山旭東病院、岡山西大寺院、岡山赤十字病院、紀南病院、倉敷スイートホスピタル、倉敷成人病センター、国立病院機構中国四国グループ、榊原病院、しげひ病院、島根大学医学部附属病院、津山中央病院、鳥取大学医学部附属病院、HITO病院、松江赤十字病院【医薬品卸企業】 エバルス【CRO】 シミック【公務】 倉敷市
- 短期大学**
  - 【建設業】 アート建築、峰南工業【製造業】 アルファ、カイタック、ジーベック、ワールドインダストリーファブリック、光経金属工業【情報通信業】 岡山情報処理センター、ベネッセインフォシエル【運輸業】 サカイ引越センター【卸売・小売業】 トリツ機工、室賀ネジ機工、アイジエリウマキ、アモワークス、岡山ダイハツ、小野、オンワード樺山、カートップ、木原興業、コスモス薬品、山陽マルナカ、ジュンテンドー、スライパ、総合メディカル薬局、東京靴、ハローズ、プレヒまわり【金融業・保険業】 備前信用金庫、中銀証券、クレディセゾン【飲食・宿泊業】 JR 西日本ヴィアイン、ベネフィットホテル【教育・学習支援業】 公立幼稚園、私立幼稚園、公立こども園、私立こども園、公立保育園、私立保育園、就実学園【医療・福祉】 おおみち耳鼻咽喉科、おかの眼科、岡山西大寺院、くまざわ歯科診療室、国立病院機構中国四国グループ、つばうち歯科、はなふさ歯科、モモデンタルクリニック、タスク・フォース、ももたらうウェルフェア【複合サービス事業】 JAびほく【サービス業】 エイジック、日本ケイテム、マーキュリー

## 平成30年度 学業奨励賞受賞者 (大学院・大学・短期大学)

大学院	大 学			短期大学
	人文科学部	教育学部	薬学部	幼児教育学科
人文科学研究科	表現文化学科	総合歴史学科	初等教育学科	2年生 八尾 茜里 森田 茜 春日 玲那
2年生 該当者無	2年生 橋本 菜緒 井原 舞華 春木 美樹	2年生 森原 美緒 片山 智恵 國近 優衣	2年生 西 佑佳莉 西園寺 永 周藤 蘭	2年生 山本 夕佳 大島 光葵 宮田 早織
教育学研究科	3年生 安宅 星夏 田中 千晴 河原 巴嘉	3年生 近藤 吉純 福田 夏美 田村 美結	3年生 中島 智悟 平田 夕貴 高原 美沙	3年生 天久日 菜子 小澤 惇子 石井 里沙
医療薬学研究科	4年生 小林 絢香 吉田 尚央 中内 利海	4年生 高田 元気 田邊 実子 森 美紗樹	4年生 上森 宏樹 田村 尚也 遠藤 隆平	4年生 山本 水緒 三宅 悠太 直良 知美
2年生 森内 葉子 3年生 坂本沙祐里 4年生 青木 孝文	実践英語学科	経営学部	教育心理学科	5年生 田内 和寛 安田 翔 西原 彩夏
	2年生 木村奈々子 水田 愛美 溝淵 奈緒	経営学科	2年生 山下 理緒 菅家 彩葉 巻幡 楓花	6年生 武田 有紀 島村優香理 齊田 真子
	3年生 鷹取 愛 元宗 千晶 加藤 千晶	2年生 多賀 彩夏 武内祥太郎 小川 萌子	3年生 萩原 彩世 村岡 花奈 漆原なつみ	
	4年生 山本 葵 清末万里子 山本 舞	3年生 丸山 悠那 須藤 彩乃 高原 実玖	4年生 加藤 訓子 岡本 佳子 玄馬 夏帆	
		4年生 野山 貴弘 相賀 千明 樋口 拓海		

## 平成30年度 学術・文化・ スポーツ奨励金

この奨励金は、学術研究・文化活動・スポーツ活動において、就実の名を高め、地域の評価に値すると認められた、団体及び個人に給付されるとなっています。今年度は右記の2団体に授与されることが決定しました。目標を持ち、一丸となって活動している懸命さが伺えます。今後も一層のご活躍を期待しています。

団 体 GBA (ぐば)  
(就実短期大学幼児教育学科  
子育て支援ボランティアグループ)  
教育保育実践研究会 (act's)



教員インタビュー

# わたしたちの研究



**小山 敬一 先生**  
人文科学部 実践英語学科 教授

[profile]

岡山市生まれ。岡山県公立高等学校に約33年間勤務。岡山城東高校、岡山大安寺中等教育学校の新設校開設に携わる。岡山県教委から兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所第一期生として派遣される。高等学校検定教科書を3冊執筆。2017年4月より現職就任。

●担当講義

英語ゼミナール、教科教育研究(英語)、言語文化講読

## 英語教育の過渡期にある今、 世界に通用する英語力の育て方を探求しています。

私は、日本人の英語読解能力を育成する授業方法の研究をしています。従来の英語読解は、教科書を読み、語彙を調べ意識して終わりでした。しかしそれでは、その単語や文法を用いて自分の意思を伝えられるレベルにまで深く理解することは困難だと感じ、授業のまとめとしてキーワードとなる単語を提示し、班で協力して英文に再構築するという授業を実践しました。「文を組み立てる」「生徒間で説明し合う」という能動的な作業をプラスしたことで理解度を飛躍的に深めることに繋がりました。この指導法は、25年前に行ったときには「風変りな授業」と評されましたが、今では「技能統合型授業」として広く定着しています。学生にも、生徒たちに必要な英語力とは何かを常に考えた指導を行える教師になって欲しいです。そのために、今はしっかりと自身の力を養ってもらいたいと思います。

プライベートは

実は私、大の野鳥好きで、紅白歌合戦で活躍する、あの「野鳥の会」のメンバーでもあるんです。とは言っても、東京支部ではないので、あの場でうちを数えたことはなく「ニューイヤーズカウント」で集まった仲間たちと「あ、今〇〇さんが映った!」と、番組終了間際に独特の盛り上がりを見せる地方支部会員ですけど(笑)。ちなみに「ニューイヤーズカウント」というのは、日本最大のソルの越冬地(鹿児島県)で、元旦の朝日が昇る前に一斉に各自指定された種類のソルを数えるというワクワクのイベントです。初夏になると青い鳥も見つかるし、瞬時に雌雄の判別もできるようになるし「特典」いっぱい! 皆さんも入会したくなっただけじゃないですか!?



**渡邊 将智 先生**  
人文科学部 総合歴史学科 講師

[profile]

千葉県出身。二松学舎大学文学部中国文学科中国文学専攻卒業。早稲田大学大学院文学研究科史学(東洋史)専攻博士後期課程修了。博士(文学)。2016年4月現職就任。

●担当講義

アジア史入門、アジア史研究、アジア史講読、アジア史講義、アジア人の思想、総合歴史基礎ゼミナール、総合歴史ゼミナール

## “現在”は“過去”の結果。 歴史を学び、今直面している問題解決の糸口を探る。

私は「古代中国の政治史、制度史」についての研究に取り組んでいます。具体的には、漢王朝を中心に、古代中国王朝に君臨した“皇帝”という存在が、いかにして権力を掌握し、広大な領土を統治していたのか、どのようにしてその権威と権力が衰え、次なる王朝に取って代わられるに至ったのかについて調べています。文献や考古資料を基に、政治史と制度史という2つの観点で検討し、皇帝支配の特色を解明しようとしています。最近では、中央官制の再編が皇帝と官僚の関係に及ぼした変化に注目した研究も行っています。歴史を学ぶと、何千年も昔の社会の制度や問題が、現代社会のそれと類似していることが多々あると気付かされます。“現在”は“過去”の結果です。史実を学び知ることが、今現在、直面している様々な問題解決の糸口となり得ると考えています。

プライベートは

魚好きなんです。数あるバイトの中から、スーパーの鮮魚コーナーを選んじやうくらいに(笑)。閉店後に余った刺身や寿司を持ち帰るという、超魅力的な特典付きだったこともあり2年も働いてたんですけど、一度、お土産の魚ももらったし、そろそろ帰ろうかなという時に、突然冷凍庫が“死んじやった”ことがあるんですよ。「えー!!なんぞ? ホントに壊れてる?!」なんて言いながら、深夜に冷凍庫前で男二人が右往左往(笑)。別の売り場の冷凍庫になんとカスペースを生み出そうということになり、入っている物を取り出しては縦に入れてみたり横に入れてみたり…。「影のヒーロー」の死闘の末、翌朝も無事「通常の鮮魚コーナー」の姿を保つことができました!

## 進路も目指す方向も違うからこそその学び合い。 多種多様な考え方に触れ、柔軟な対応力を身につけよう。

子どもの心理を中心に学ぶこのゼミでは、3年次にレポートの書き方や文の組み立て方など基本的なスキルを身に付け、4年次で各自の卒論テーマに沿って必要な調査や実験、分析などを行い、論文を仕上げていきます。

このゼミの良いところは、養護教諭や心理士を志す学生だけではなく、一般企業への就職を目指す学生も在籍しているということ。若いうちに、方向性の異なる人の意見や考え方に多く触れることで、視野が広がり多様性への理解を深めることができます。

多種多様な考えを受け入れ理解することは、教育の基本であり、現代社会で最も求められていることです。ここでの学びを活かし、相手の立場に立った対応のできる人になってほしいと願っています。



### 学生の コメント

### 『とにかくやってみる』のが桑原ゼミのモットー

「桑原先生を一言で表すなら“theマジメ”。全身から“真面目オーラ”がにじみ出てます！」と、一様に口をそろえます。とはいえ、決して近寄り難いわけではなく、自転車で「V6」の『愛なんだ』を歌いながら登校していたり、“どこで見つけてくるんだ”と思うような、珍しいフレーバーのチョコを配ってくれたり…。意外な一面に親近感が湧くようです。

また、学生の自主性を尊重してくれ、卒論も、子どもに関すること以外のテーマでも自由に決められるのだとか。例えば、“癒し”をテーマに、動物に触れなくても画像を観るだけで癒されるかを調査したり、“女性リーダー像”をテレビドラマから考察したりとユニーク。「課題に取り組んでいると、何から取り掛かればいいのか迷うことも多々ありますが、先生がよく言う『とにかくやってみる』精神で頑張ってます！」と、明朗さが魅力の桑原ゼミ生です。



桑原 和美 教授：教育学部教育心理学科教授、副学長

## 自ら定めたゴールに向けて、 試行錯誤することの大切さを学んでほしい。

このゼミでは、実社会で即戦力となりうる人材の育成を目的に、ワードやエクセル、パワーポイントを使った資料作成や模擬会議などの実践的な授業を行っています。2年次では、これまで習ったことを統括的に発揮する場として「キッズタウン」と題した、職業体験型の子ども向けイベントを開催。企画、準備からパンフレット作成、協賛金募集に至るまで、イベントにまつわるすべてを学生主導で行います。一つの目標に向け、何をどう進めれば良いのかを話し合い、自ら考え行動するという事は、企業の中だけでなく、地域社会や家庭でも欠かすことのできない大切な能力です。この経験を通じてそれらを学んでほしいと願っています。

小田先生より  
メッセージ



学生の  
コメント

### 作業量も半端ないけど、達成感も半端ない！

「先生は絶対に怒らないんですよ。それに、みんなの話をよく聞いてくれて優しい。いつもスタイリッシュなのに、車にはけっこう大きな“ブーさん”を乗せてる(笑)。」などなど、親しみのある学生たちの声から、小田先生への親しみや信頼度の高さが伝わってきます。しかしながら、ゼミが決まった当初はショックを受けた学生もいたよう。「短大はゼミが選択制ではないんですよ。あまりイベントごとが好きではなかったんで、他のゼミの人がうらやましくて。」との声も聞かれましたが、「実際に取り組んでみると、いろんなことが自分たちの手で一つひとつ形になっていくのを体感でき、とてもうれしい。友達との一体感も生まれ、大変な分達成感も大きいです。結果的にはこのゼミでラッキーでした!」とどの学生も充実した様子でした。



小田 奈緒美 講師：短期大学生活実践科学科講師



## ただいまお楽しみ会 (卒業児招待会)

就実こども園

就実こども園では、毎年7月の終わりに卒業生を招待して「ただいまお楽しみ会」を行っています。今年も7月26日に実施しました。昨年度の卒業生37人全員が集まり、カレーを作ったり、製作遊びや好きな遊びをしました。子どもたちに一年生の様子を聞いてみました。「楽しい」と大きい声が返ってきました。

カレー作りの材料は、こども園の菜園で昨年度植えて収穫した「ジャガイモ」「タマネギ」、そして畑のおじさん(尾崎さん)が育ててプレゼントしてくれた「ニンジン」です。パッチリ材料が揃ったところで給食室に移動し、みんなで分担しながら食材を洗ったり切ったりしました。カレーが完成した後は元のクラスで食べました。完食・お代わりで大きなお鍋は空っぽになりました。久しぶりに先生や友だちと会って楽しい半日を過ごしました。



## 第2回博物館散歩 史跡鳥取藩主池田家墓所と 鳥取県立博物館に行く

表現文化学科



「見る、聞く、触れる」実感教育プログラムの企画として、6月23日(土)に第2回「博物館散歩」を開催し、学生と教員あわせて23人が参加しました。今年の訪問先は史跡鳥取藩主池田家墓所と鳥取県立博物館です。鳥取県は本学が所在する岡山県の北側に位置し、江戸時代を通じて同じ池田一族が治めていた地域です。

池田家墓所では、鳥取池田家の殿様や一族の人々、そして墓所の保存・管理などについて、管理人の沖廣俊氏にお話いただき

ました。あいにくの雨模様でしたが、参加した学生たちは熱心に聞き入っていました。

鳥取県立博物館は、鳥取城跡に昭和47年(1972)10月1日に開館した総合博物館です。今回は企画展「大いなる神仏の山 大山ーその歴史と民俗ー」を、本展を担当された福代宏主幹学芸員の解説で見学し、『表現文化だより』の編集委員によるインタビューも行いました。この内容は次号の『表現文化だより』に掲載されます。

## 第11回1・2年生合同運動会を 行いました【6月2日(土)】

初等教育学科

この行事は、2年生の実行委員が中心となり、クラスごとに1年生との親睦を深めることや一つの行事を企画、運営、実行、振り返りを経験することなどを目的として行われています。今年も2年生がリーダーシップを発揮し、近隣への挨拶、予行練習などを入念に行い、本番を迎えました。当日は、クラスごとにおそろいのTシャツを着て、気合十分で始まりしました。勝ち負けにこだわるのではなく、安全に配慮しながら最後まで楽しく運動会を終えることができました。

2年生は1年生と共に一つの行事をやり切った達成感を、1年生は2年生と充実した時間を過ごし先輩たちへの強いあこがれの気持ちをもつことができました。このように2年生から1年生へよい伝統が引き継がれていくのが本学科の強みです。



## ボランティア団体 GBA<sup>ぐば</sup> 13年目を迎えて

幼児教育学科

幼児教育学科のGBA(ぐば)は本年度で、結成13年目を迎えます。GBAは有志によるボランティア団体であるにもかかわらず、現在では8割以上の学生が所属しており、幼児教育学科のもう一つの有志団体である中四(ちゅうし)と共に『就実やんちゃキッズ』の企画、運営を行っています。就実やんちゃキッズとは、地域の子育て世帯を本学体育館アリーナに招き、遊びを通じた交流を行う子育て支援イベントで、年4回(5月、6月、11月、1月)開催しています。

本イベントは毎回、好評をいただいております。第1回(5月19日)には392名(大人178名、子ども214名)、第2回(6月16日)には、なんと過去最高の796名(大人373名、子ども423名)の来場者を迎えました。より安全で楽しい会を目指し、学生たちは入念にリハーサルを行い、話し合いを重ねています。学生たちにとって、準備や

来場者との交流を通し、保育者の卵として必要な技術や心配りを実践的に学ぶよい機会となっています。



## 学長・顧問と クラブ・同好会部長との 懇親会



7月18日(水) 18時から「平成30年度学長・顧問とクラブ・同好会部長との懇親会」をV館地下食堂にて、100名の参加者のもと開催しました。

放送文化部が司会進行を担当、桑原副学長のご挨拶で開会となりました。引き続き十川学友会長から7月豪雨災害募金活動を開始するので協力してほしい旨のお願いがなされました。当日配付資料「活動計画・活動報告書」をもとに、文化局代表写真部、運動局代表硬式テニス部、同好会代表中国語勉強会から、それぞれの目標に向かって活発な活動を行っている様子が報告されました。「施設の使用について」や「修繕について」の要望を直接副学長と相談したり、顧問とも相互親睦・理解を深める貴重な時間を過ごすことができました。和やかな歓談の中、今後とも学友会・クラブ・同好会の活動にご理解・ご協力いただきたい旨、家田学友会副会長からお願いがなされ、閉会となりました。

この会は毎年立食形式の懇親会を実施していましたが、今年度は7月西日本豪雨災害で本学の学生が受けた被害状況に鑑み、学長・副学長とも相談の上、簡単な軽食に変更し、そこで生まれる経費の差額を被災された方々への義援金とさせていただきます。

## 第1回後援会役員会

平成30年5月26日(土)、第1回後援会役員会が、30名の役員、26名の学内関係者の出席のもと開催されました。

桑田後援会会長の挨拶と謝辞に続き、片岡学長及び杉山副学長、見尾副学長から挨拶と日頃の支援に対する謝辞が述べられました。また、片岡学長から、初年次教育「スタートアップ就実」を実施し教育の質の向上に努めていること、昨年度調査した「学生生活実態調査」の結果を踏まえて計画的な改革に取り組んでいること等の説明がありました。そして、出席者の自己紹介の後、議事に入りました。

会計・施設課長から、平成29年度事業報告及び決算について説明がなされ、監査委員より監査報告があり、異議なく承認されました。

次に、30年度の役員選出が行われ、会長として金島みゆき氏が推薦され、承認されました。また、永井副会長、楠原監査委員、西山監査委員の再任が承認されました。

会計・施設課長から、平成30年度新規支援事業、既存支援事業及び継続事業の計画案と予算案についての説明があり、承認されました。

議事終了後、各学部長及び短大学部長から近況報告、キャリアセンター長から就職状況の説明がありました。最後に、昨年度実施したアンケートの集計結果について報告があり、閉会しました。



本学大学院・大学・短大の在学生なら誰でも応募資格あり!

# 就実おいでよスタッフ大募集

(学生広報スタッフ)

授業の合間に「就実おいでよスタッフ」として私たちと一緒に就実の魅力を発信しませんか?



☆ 求める人材 ☆

- ① イベントの企画立案や運営に興味のある方
- ② 広告物の作成や情報発信に興味のある方
- ③ 責任感があり、あかく積極的な方
- ④ 高校生や学外の方に就実大学・就実短期大学をPRすることに興味のある方
- ⑤ 就実大学・就実短期大学や所属学部・学科が大好きな方

＊ 業務内容 ＊

- ① 高校生向け学生イベント企画立案
- ② オープンキャンパスや大学見学等の運営補助
- ③ 本学LINE等SNSでのキャンパス紹介やイベント告知など就実の魅力発信
- ④ 広告物(冊子、CM、Web関係等)の作成・出演
- ⑤ 高校生とのフリートークやキャンパスツアーなどコミュニケーションPR
- ⑥ オープンキャンパスに向けての研修会参加

＊ 応募方法 ＊

専用のエントリー用紙に記入  
↓  
T館1階の入試課へ提出  
※用紙はT館入試課前で配布

お問い合わせ先

☎086-271-8118  
入試課(T館1階) ●平日9:00-17:00  
✉nyushi@shujitsu.ac.jp



■時間 10:00~11:30  
 ■会場 本学S館101教室  
 ■受講料 無料  
 ■定員 100名

申込受付開始日  
 後期講座 8月17日(金)

お問い合わせ・お申込先  
 郵送、FAX、E-mailにてお申し込みください。  
**就実大学・就実短期大学 総務課 公開講座担当**  
 TEL.086-271-8290 FAX.086-271-8310  
 〒703-8516 岡山市中区西川原1-6-1  
 E-mail:soumu@shujitsu.ac.jp

主催/就実大学・就実短期大学 後援/岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山陽新聞社・NHK岡山放送局・RSK山陽放送

後期 「パフォーマンスとコミュニケーション Performance and Communication」 担当/実践英語学科

	9月1日(土)	9月8日(土)	9月29日(土)
演題	金は舞台に落ちている —マーク・トウェインのパフォーマンス	『グレート・ギャツビー』における ギャツビーのパフォーマンス	言葉だけがコミュニケーション?
内容	アメリカ合衆国を代表する小説家マーク・トウェインが人生という舞台で何を演じ、どういうふう成功し、失敗したのかをのぞいてみたいと思います。そして彼が演じた役と彼の実像を論じます。	アメリカの小説『グレート・ギャツビー』の描写とその映画版を通して、『人は見た目が9割』で言うように、コミュニケーションとはいかに言葉以外の目に見られるものかということ考察します。	日本の伝統芸能の一つである「狂言」は、多くの日本人に言葉が難解でハードルが高いと思われるが、日本語の分からない外国人が見たらどう思うだろうか。豪州タスマニアで行った狂言ワークショップや公演の経験を通して、コミュニケーションは何かを考えたい。
担当	教授 和栗了	教授 長瀬 恵美	教授 ジェニファースコット
	10月6日(土)	10月13日(土)	11月24日(土)
演題	絵本翻訳の世界	Coppola監督は 『闇の奥』をどう解釈したか	パフォーマンス向上をめざす 英語教育の取り組み
内容	子供だけでなく大人も楽しめる絵本の世界について、演劇と翻訳の観点から魅力を探ります。紙絵本と電子絵本との比較や、英語と日本語による読み聞かせを通して、言語と非言語の関係も一緒に考えましょう。	フランス・フォード・Coppola監督の名作『地獄の黙示録』(Apocalypse Now, 1979)とその原作であるジョセフ・コンラッドの『闇の奥』(Heart of Darkness, 1899)の比較検討を行う。	近年、中学・高校の英語の授業はコミュニケーション手段として英語を使用するなど21世紀を生きる学習者のパフォーマンス向上のため多くの改善がなされています。新しい学びを紹介し今後の英語教育を考えます。
担当	准教授 武部 好子	教授 渡辺 浩	教授 小山 敬一

図書館で地域をまなぶ 第9回 就実大学・就実短期大学 図書館セミナー

## 絵本を楽しむ

### 赤ちゃんから大人まで

文庫活動から見えてきたこと

赤ちゃん絵本、物語絵本、自然科学の絵本、ことばの絵本などを楽しんでみませんか。子どもと一緒に絵本を読む、そこで育まれる時間は特別なものです。文庫活動から見えてきた子どもたちとのふれあいや地域とのかかわりなど、絵本から広がる世界を考えてみたいと思います。

日時: 2018年11月24日(土)  
13:00~16:00

場所: 就実大学・就実短期大学  
図書館5階AVホール

定員80名  
(参加費無料です。先着順・要申し込み)

日程	内容	講師
13:00	開会の辞	柴田 隆司 就実大学・就実短期大学 図書館長
13:10~14:40	基調講演	伊丹弥生 文庫えぼみなんだす・就実大学非常勤講師
15:00~16:00	学生のための絵本読み聞かせ講座	

お申し込み・お問い合わせ 就実大学・就実短期大学図書館 〒703-8258 岡山市中区西川原一丁目5番22号 TEL:086-271-8134 FAX:086-271-8275 E-mail:lib@shujitsu.ac.jp

## 平成31年度 入試概要

試験区分	試験日	出願期間
推薦入試 AO入試(専願)	平成30年 9月22日(土)	平成30年 9月4日(火)~11日(火)
自己推薦入試(専願)	平成30年 9月22日(土)	平成30年 9月4日(火)~11日(火)
総合型選抜	平成30年 10月20日(土)	平成30年 10月1日(月)~9日(火)
学校推薦選抜Ⅰ	平成30年 11月15日(木)	平成30年 11月1日(木)~7日(水)
学校推薦選抜Ⅱ	平成30年 11月16日(金)	平成30年 11月1日(木)~7日(水)
一般選抜(前期)	平成31年 2月1日(金)・2日(土)	平成31年 1月5日(土)~23日(水)
一般選抜(後期)	平成31年 2月27日(水)	平成31年 2月8日(金)~18日(月)
センター試験利用入試 A	個別試験は課さない	平成31年 1月5日(土)~23日(水)
センター試験利用入試 B		平成31年 2月8日(金)~18日(月)
センター試験利用入試 C		平成31年 3月1日(金)~8日(金)
大学院 秋期入試	平成30年 9月21日(金)	平成30年 9月4日(火)~11日(火)
春期入試	平成31年 2月27日(水)*1	平成31年 2月8日(金)~18日(月)
	平成31年 3月14日(木)*2	平成31年 3月1日(金)~8日(金)

※自己推薦入試は薬学部では実施いたしません。詳細については「学生募集要項」をご確認ください。  
 \*1 人文科学研究科、教育学研究科のみ実施 \*2 医療薬学研究科のみ実施

